



「奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために」



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：本田 実 / 副会長：岡 光正 / 幹事：田添 直記

2021～2022 年度クラブスローガン

原点に返り、新しい時代へ 考動!!

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：片桐康利、橋口輝宗、福田英彦、西村浩輝
田雑豪裕、大久保厚司、崎山信幸

本日の出席率90.47%：会員数48名・出席37名・欠席3名・出席規定免除会員6名・ビジター0名
前々回の修正出席率84.09%：出席29名・メイクアップ0名・出席規定免除会員8名



会長挨拶 / 本田 実君



みなさんこんにちは。今日先週会長挨拶で、梅雨入りが遅れている挨拶をしましたが、何と翌々日の土曜日18日に、九州北部地方の梅雨入り宣言がされました。稲、田んぼはもちろん、夏野菜には恵みの雨です。

また、先々週、五島トライアスロンが中止になった話しもしました。日本のトライアスロン発祥の地、天草での大会は12日に開催され仲間が参加をして来たようです。前日まで天候が荒れていたようで大会当日は、波の高さ2m、荒れた海でのスイムだったそうですが無事に完走したとのことでした。

私たち本田丸も、コロナの波にやられ例会を12回休会しましたが、

無事に佐世保湾に帰港してきました。このままスムーズに着岸したいところでしたが、八重野クラブビジョン委員長が湾に入ってすぐの船番所で教育と補給をしましょうと舵を切り始めました。3日後には新入会員セミナーが船番所で開催されます、みなさん多くの参加をよろしくお願いいたします。



今月のお誕生日会員

昭和56年6月9日 田端 真人 君



ニコニコボックス

本田 実 会長・岡 光正 副会長・田添 直記 幹事

皆様、こんにちは。梅雨入りし、早いもので今年も半年を過ぎようとしております。当クラブ2021～2022年度の活動についても振り返りの時期となってきました。

本日のプログラムは、第9回クラブ協議会となっております。各委員会それぞれにおいて、今年度の活動を振り返り、ご報告をいただく予定となっております。皆様、ご清聴のほどよろしくお願いいたします。

牛島 義亮君

皆さん、たまには映画も見てください。トップガンおすすめ。36年前の続編ですが、スカッとしますよ。

井上 亮君

結婚記念日のお花ありがとうございました。43回目の記念日でした。

本田 実君

井上君のお孫さんがNBCの番組に出られてました。小学3年生ながらしっかりと口調と流暢な受け答えをするお孫さんはさすが井上君の血をひいていますね。心温まる良い番組でした。



結婚記念日

5月	3日	竹本 慶三・多恵子	ご夫妻
6月	1日	田中 啓輔・庄子	ご夫妻
6月	3日	井上 亮・和子	ご夫妻
6月	4日	川上 仁哉・智子	ご夫妻
6月	7日	筒井 琢磨・真由美	ご夫妻

田中 啓輔君

結婚記念日のお花ありがとうございました。

稲次 賢一君

人生順風満帆です。楽しい事が来世まで続く事を祈念してニコニコします。

川上 仁哉君

結婚記念日のお花ありがとうございました。

筒井 琢磨君

結婚記念日のお花をいただきありがとうございました。

藤井 寿人君

1年間ニコニコのご協力、ありがとうございました。

田端 真人君

先週は新入会員卓話におきましてお話をさせていただきました。まだまだ未熟者ですが、よろしく願いいたします。今月誕生日でもありますのでニコニコします。

本日の合計	15,000 円
本年度の累計	958,202 円

**本日の卓話****◆第9回クラブ協議会◆****SAA 香月 章彦委員長**

本年度もコロナ禍中での活動となりました。例会中止や例会場で食事をとらず弁当を持ち帰るということもありましたが、そのような中でも、スクール形式で集合し、食事をし、会員同士の顔を見ながら行えた例会は、前年度より多く実施できました。ウィズコロナの意識が高まり、手指消毒・マスク着用・可能な限り大きな声で話さないなどのことが浸透したように感じられました。

司会担当・音響担当を事前に有り当て、仮に例会を休む場合でも事前に連絡を取り合うなどしたことで、副SAAの皆様が協力して頂いたことで、滞りなく運営できたと思っています。

1年間、会長をはじめとする役員・理事の皆様、会員の皆様そして副SAAの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

**クラブビジョン 八重野 一洋委員長**

佐世保中央ロータリークラブの将来を見据えたビジョンを示すべく当初様々な計画を立てていました。会員同士の交流は事業を通じて更には趣味趣向を交えた親交を深める事が出来た1年だったと思います。しかし、新型コロナウイルス感染症急拡大は治る事なく例会休会を余儀なくされました。これを機に佐世保中央ロータリークラブのスタンダードの一部として長崎県が掲げる感染段階対応の目安としてレベル2-2から警戒レベル3にかけて例会の制限、休会について会員の健康を鑑みる確たる指針が必要と考えクラブに提言させて頂きました。

次年度橋口佳周ガバナー補佐を輩出するにあたりセクレタリーの選出を年代別に検討、提言させて頂きました。周期的に就任依頼が来るのを予測して適材と思われる人材選出のための討論会なども今後は必要ではないかと考えました。

最後に入会3年未満対象者への新入会員セミナーを期末時期ではありましたが計画しロータリーアンとしての基礎知識、対応マナーなど中堅クラス会員をオブザーバー参加も含み実施致しました。

**親睦例会活動 藤井 寿人委員長**

当委員会としては、会員相互の親睦及び会員家族の交流を更に深めるように努めると共に、昨今の状況を見極めながら会員同士の好意と友情が深まる活動となるように目指してまいりました。

当委員会の活動においては、「納涼例会」「忘年家族例会」「延寿会」を開催する予定でした。

「納涼例会」においては、9月に企画計画したものの、コロナ蔓延のため中止せざるを得ませんでした。そして「忘年家族例会」においては、当ロータリーとして初めであるホテルオークラにて12月に開催させていただきました。しかし、憩いの場にはなったもののウィズコロナのルールにより、家族・会員同士の交流までは至りませんでした。

「延寿会」においては、コロナ蔓延による延期を重ね、4月にセントラルホテル佐世保にて開催させていただきました。コロナの情勢が一時落ち着いた事もあり、ウィズコロナでも交流できる雰囲気を作れたと思います。

各事業において、コロナ禍での活動には制限がありましたが、当ロータリーの様々な判断のうえ、無事に開催へと導いていただきました。

また、例会活動においては、例会中止で回数が減るなどでニコニコボックスに苦労しましたが、何とか目標を達成する事が出来ました。

次年度は、ウィズコロナでも活動していく形となると思いますが、コロナが落ち着き、コロナ禍以前の交流や通常の活動ができるように願っております。

最後に、当委員会メンバーや皆様のご協力のおかげで一年間無事に委員長を務める事ができました。感謝申し上げます。



式典例会・出席 川上 仁哉委員長

本年は、入会して初めての委員長を受けさせて頂きました。コロナ禍の中ではありませんでしたが、会長・副会長・幹事交代式と創立31周年記念式典・懇親会を無事に開催する事ができました。初めての委員長という事もあってメンバーを始め沢山の皆様には寛大な心で見守っていただきました。コロナ禍の状況でも委員会を開催する際には沢山のメンバーに集まって頂き、その中で色々なお話を聞いて、事業の参考にできました。本当に良かったと思います。反省点としましては、行った事業の中で、ひとつでも新しいことにチャレンジしていければよかったなと思いました。また、わからないことは自分で解決せずに、もっと大委員長やメンバーの皆様に相談してもっとより良いものにしていかなければいけなかったと思います。また、誤字脱字チェックや資料の見直しをしないといけないと感じました。以上の点を今後に生かして引継ぎをしていきたいと思っています。1年間ありがとうございました。

**公共イメージ・会報 片桐 康利委員長**

一年間、クラブの活動を、当クラブの指針のもとに、会報・ホームページその他のメディアを利用して発信しました。

コロナ化においては、クラブ活動の内容をどのように、SNSでどこまで発信するのが良かったのかという点で、皆様にご意見を頂きました。今後は、クラブのSNS発信においては幹事・幹事の指示したもの及び当委員会においてのみ発信を行うように検討して頂ければと思います。また、画像及び映像等の保管については、容量も年々大きくなっていくため外部HDD等の導入も検討されてはと思います。

一年間、委員会の皆様に頼りっぱなしだったことに御礼申し上げ報告とさせて頂きます。ありがとうございました。

**会員増強 筒井 琢磨委員長**

本年度は入会目標3名、そして女性会員の入会を目指して一年間活動を行ってまいりました。結果は目標に届かなかったものの2名の新入会員をお迎えすることができました。コロナ禍の中、入会候補者に会ってお話をする機会を作ることが難しかった部分もございましたが、お声掛けした候補者の中には、今後入会する意思がある方もいらっしゃいました。入会候補者の情報を次年度にしっかりと引継いで、今後の入会に繋げていきたいと思っています。

皆様から本当に多くの入会候補者の情報をいただきました。ご協力いただいたことに感謝申し上げます。一年間ありがとうございました。

**職業奉仕 倉科 聡一郎委員長**

当委員会は、事業としては「家族・社員招待例会（映画例会）」及び「職場訪問例会」を当初の予定どおり行うことができました。この二つの事業とも、長引くコロナ禍の影響が大きかったです。

「家族・社員招待例会（映画例会）」については、シネマボックス太陽様のご協力のもと、感染対策を行い、軽食の提供を取りやめるなどすることで実施することができました。

「職場訪問例会」については、受け入れ先の職場の確保が厳しい状況でしたが、株式会社庭建様が中心となって運営している新佐世保中央公園にて実施できたことは、ありがたく感じております。

この二つの事業を通じて、会員が職業を通じて他の人々に奉仕し、高い職業倫理を持ち、日々の仕事を通して世の中に貢献するためには、奉仕の心を育て向上させる一助となったのではないかと考えております。

コロナ禍の中、会員の皆様のおかげで年当初掲げた事業を行うことが出来たことに感謝申し上げます。

**社会奉仕 芥川 圭一郎委員長**

当初、地区補助金を活用した、友好クラブであります旭川空港ロータリークラブとの交流事業を計画しておりましたが、コロナ等の要因で計画を変更しました。さらにフェスティバル開催中に島瀬公園にて、青少年奉仕委員会との合同にて、スペシャルオリンピック告知イベントを開催しました。

イベントでは、スペシャルオリンピック事業のご紹介やデモンストレーション走行をしていただき、会場にいらした多くの方々へは告知することが出来たと思いますが、残念ながら各報道関係者の参加が少なく、報道各社への掲載は予想より少なかったです。イベント自体は、佐世保特別支援学校・県立佐世保北中高吹奏楽部さんの参加により成功裏に終えることが出来ました。当日並び準備段階よりご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

**青少年奉仕 山口 裕之委員長**

本年は、委員会メンバーのご指導の下、交流会の企画、運営を行いました。コロナの感染者数や天候に左右される事業でしたが、無事に開催することが出来ました。スペシャルオリンピックの周知もでき、生徒の皆さんもコロナ過で他に発表の場も無かったため、大変喜んでいただきました。

また、例会では「ひとり親家庭の現状」の講演ビデオを放映し、将来の佐世保を支える子供たちの現状を見ていただきましたが、他にもヤングケアラーの実態など青少年に関する課題も多く残っている事がわかりました。



今後も青少年に関する議論を深めることも必要だと思いました。

memo

国際交流 宮崎 正典委員長

今年も、コロナ禍の折、釜山蓮山ロータリークラブとの交流は出来ませんでした。また、例会時に国際感覚を肌で感じる事業を行う予定でしたが、例会の休会期間と重なり実施出来ませんでした。



次年度は、3年振りに渡航が全面解禁になりそうなので、相互交流が出来る事を楽しみにしています。

財団・米山 井上 亮委員長

今年度の活動計画は

1. ロータリー財団に関する会員への広報
 2. ロータリー財団・米山奨学会への寄付
- の2項目でした。



1項目の会員への広報は11月4日の例会において中央ロータリークラブ基金会の設立目的等・米山奨学会等について卓話を行い会員への理解を深めていただきました。

2項目のロータリー財団への寄付は3名、米山奨学会への寄付は2名の合計5名の寄付を行いました。

また、10月7日の例会において、米山奨学生ドー チューン ミントウさん（ベトナム人）卓話をお願いしました。



SAA：香月 章彦君
次回例会6月23日12：30～